

地域で活かされる

長崎大学の

知

Knowledge of Nagasaki University

Vol.9



来日した外国人が
高度先進医療を受けられる
J-IHに認定

今年八月初旬、長崎大学病院は九州の国立大学病院としては初めて、一般社団法人MEJが推奨する「ジャパンインターナショナルホスピタルズ（J-IH）」に推奨されました。J-IHとはどのような病院なのでしょう。国際医療センターの江口晋センター長にお話を伺いました。

「この事業は、二〇二〇年の東京オリンピック開催に合わせて日本の高度医療を世界にアピールし、産業として活性化させる国の施策に沿って海外からの渡航受診の受け入れを促進することを目的としています。その意欲や実績があり、取り組みを行っている病院をJ-IHとしてMEJが推奨し、海外へ情報発信します。つまり、この認定を受けたことで海外からの外国人患者さんが長崎大学病院を訪れて高度医療

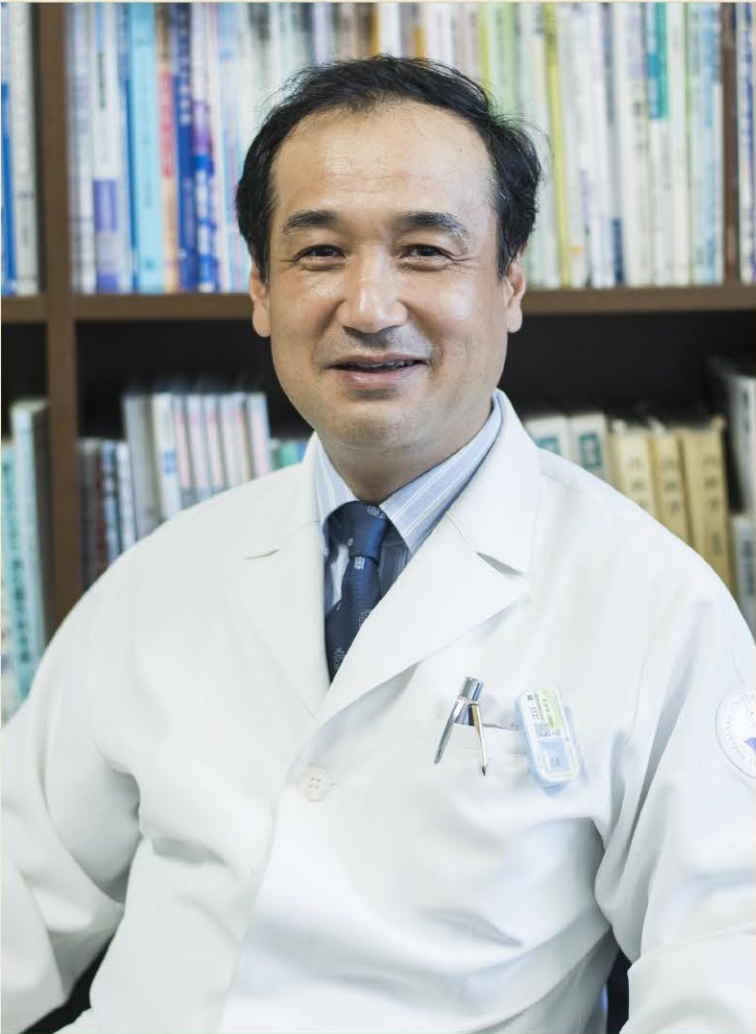
を受けやすくなります。通訳も同行するので、治療はもちろん、検査や支払いもトラブルなくスムーズに進みます。推奨には厳しいチェック項目があり、事前に念入りの視察もありました。パスしたことで長崎大学病院の医療技術や設備、病室の環境などが一定の評価をいただいたものと自負しています。また、私も大学病院は高度医療を、長崎みなとメディカルセンターは比較的軽度の疾病の治療を担うよう、すみ分けしています」。

二〇一六年をもって大規模改修工事が終了した長崎大学病院。新たにバスラフや冷蔵庫、大型スクリーンなどの施設が整った広めの個室も出来ました。



外国人患者へ 先進医療を提供し 海外へ高度医療を輸出

長崎大学病院 国際医療センター



ここ数年、長崎に在住する外国人が急増したので良いタイミングでしたね。

「昨年七月のデータでは、長崎市は外国人の人口増加率が全国一になったと聞きました。三菱重工長崎造船所では客船に引き続きタンカーの建造事業も継続しており、外国人エンジニアは今も多く市内に在住しています。また、長崎の観光都市としての知名度もあり、手術を含めた高度医療のニーズは高いでしょう」。

治療のためにカザフスタンから来日した患者さんとそのご家族。



長崎の街がさらに暮らしやすくなり環境が整備されることで、観光地としての評判も上がるかもしれません。

医療技術の海外輸出は 長年の実績あり

J-IHへの加入には国際医療センターが大きな役割を担っているそうです。

「二〇一二年に長崎大学病院に設立された国際医療センターは、救命救急センター、感染制御教育センター、国際ヒバクシャ医療センター、感染症内科（熱研内科）を対象に運営されています。特に、救命救急センターと国際ヒバクシャ医療センターは、佐賀県の玄海原発や鹿児島県の川内原発などでの事故が発生した場合の緊急被ばく医療も担っています。さらに昨年から二本柱を加えて本格稼働を始めました。その一つが外国人患者に対する先進的な高度医療（インバウンド）であり、もう一つが高度医療と技術の海外への輸出（アウトバウンド）です。とはいえ、これまでも長崎大学は、一九六〇年代から医療関係者がアフリカで医療支援を継続してきましたし、原爆後障害医療研究所がチェルノブイリや福島などでの被ばく医療で功績を積みできました。大学病院全体で調べてみると、各々が個々に行ってきた海外支援や、海外医療者向けに日本で行う研修など、国際交流は頻繁に行われています」。



長崎大学病院

江口 晋 国際医療センター長 Shinya EGUCHI

長崎大学大学院 移植・消化器外科教授。長崎大学医学部卒業。博士（医学）。米国シードーズ・サイナイ医療センター（Cedars Sinai Medical Center）、オランダのフローニンゲン大学病院を経て、二〇一六年まで副病院長。二〇一六年より現職。消化器外科 移植外科が専門。



JIHの推奨証。専門病院や私立病院が認定されることが多い中で、国立大学病院としては全国で4番目に長崎大学病院が認定されました。

した。このような実績を重ねてきたのですが、研究と教育の側面からの評価が主でした。私も国立大学病院での国際医療の会議で「長崎大学は、ケニア、ベラルーシ、ベトナムなど海外に医療拠点を置いています」と発言したら他の大学病院から驚かれました。これを機会に、国内外にしっかりとアピールしていきたいですね」。

江口センター長自身も、生体肝移植のエキスパートとして、多くの治療や教育実績をお持ちです。

「カザフスタンでは十例以上の生体肝移植手術で執刀しました。多くの医療関係者にも教え、今では地元外科医が自力で手術できるまでになりました。海外では、言葉や文化の違いだけでなく手術の作法も違い、ポリビアのような高地では呼吸するのも一苦労でした。しかし今後、こういった国際医療の現場で日本の高度医療技術を教える場面は増加していくでしょう。後に続く世代が国際的な現場で医療技術を教えられるようになるためにも、医学部のカリキュラムに海外研修を意図的に取り入れています」。

特に、感染症、被ばく医療、移植医療などは、長崎大学が最も強い分野といわれています。地域への貢献とともに、強みを生かしながらグローバルに活躍する人材を教育する機関としても、大いに期待されるところです。

※MEJ 一般社団法人Medical Excellence JAPAN (MEJ) 官民一体で日本の医療の国際展開を支援する法人